

林野庁 近畿中国森林管理局

箕面森林環境保全ふれあいセンター・こだま通信



グループ対抗里山デジカメ選手権 ～作品募集中(9月28日まで)～

「身近な森林(もり)の再発見!!」をテーマとして、里山の再生・整備や森林環境教育を主眼に置き、学校、ボランティア、企業・家族・友達などのグループが共同作業で創作したデジタル写真(3枚の組写真)を9月28日(金)まで募集しています。

作品は里山に代表される身近な森林を対象として、森林の中に暮らす動植物や森林づくり活動、森林環境教育などの推進などの一瞬を切り取った写真を募集していますので、より多くのグループの皆様からのご応募をお待ちしています。

また、最終審査会については、京都の梅小路公園 緑の館で、10月28日(日)に公開で実施することになっています。

公園には、最近オープンした京都水族館があり、近隣にはJR梅小路蒸気機関車館があります。

詳しくは、当ふれあいセンターのホームページ(http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/satoyama/dejikame/dezikame-senshuken-24.html)をご覧ください。



身近な森林の再発見

只今、作品募集中!!

里山デジカメ選手権

平成24年度グループ対抗

応募×切 9月28日 金

主催 林野庁長官賞 (財)近畿中国森林管理局
近畿中国森林管理局長賞 (財)近畿中国森林管理局

審査員 (写真家) 今森 光彦氏 (農学博士) 只木 良也氏 (リポーター) 青山 佳世氏

送り先&お問い合わせ
林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林環境保全ふれあいセンター
〒530-0042
大阪市北区天満橋1丁目8番7号5号
近畿中国森林管理局内
TEL:06-6881-2013
FAX:06-6881-2055
URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/etsoo.fc/>
e-mail: kg_fureai@rinya.maff.go.jp

主催 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター
協賛 (株)ニコン
後援 朝日新聞大阪本社 / 毎日新聞大阪本社 / 産経新聞大阪本社 / 里地ネットワーク

応募方法

- 1 里山を2~3名のグループで写真に撮る**
(ジャンル)
①学校関係グループ(小学校~高等学校)
②森林・林業に関するグループ
③一般グループ(①②以外のグループ、家族もOK)
※同グループからの複数応募は撮影者が異なる場合のみ可
- 2 3枚組の写真を選ぶ**
・里山への思いをメッセージにする
- 3 応募票は応募チラシまたは、ホームページ・TEL&FAXで請求**
＜応募作品は＞・A4用紙に印刷した写真3枚1組
(応募票に必要事項を記入し各写真ウラ面に貼付)
・必ず、メッセージ(400~600字)を書き同封してください!!
写真ウラ面
各写真のウラに応募票(①~③)を貼ってください!!
- 4 応募する!!**
応募×切 平成24年 9月28日(金)
- 5 ★一次審査**
●今森光彦氏により、映像の美しさ・写真の表現力・メッセージ性を中心に審査
●①~③のジャンル毎に10グループ(計30グループ)を選抜
- 6 10月28日(日) 梅小路公園内「緑の館」にて公開最終審査・表彰式**
1名分(小・中・高校生の計+先生または保護者1名)の旗賞は出ます。
3分間以内のスピーチを行っていただきますが、取られたい場合は代読者もいます。
最終審査に選んだ作品に關しては応募作品の画像データ(URG)を提出していただきます。
応募作品について
●入賞作品・応募作品の著作権は、主催者に帰属します。主催者が主催、共催、後援する展示会等及び印刷物、webサイト、出版物などに無償で掲載することがあります。
●応募作品は返却いたしません。
●応募作品の取扱いには十分注意しますが、万一の事故に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
●本選手権の応募作品に配載の個人情報は、本選手権の運営に必要な範囲で利用します。
●応募者の同意なく、利用目的を越えて利用することはありません。

森林環境教育セミナーの開催 ～小・中学校、幼稚園の先生を対象に実施～

8月10日(金)に箕面国有林勝尾寺周辺において、箕面市の小・中学校経験2年目の先生や豊中市の小学校の先生、計24名に参加してもらい、京都大阪森林管理事務所とボランティア団体の協力を得ながら、森林環境教育セミナーを開催しました。

森林環境教育セミナーは、学校教育における森林環境教育の推進を目的として、箕面市教育委員会との共催により平成17年度から実施し、今回で8回目の開催となります。

今回のセミナーの内容は、京都教育大学の山下宏文教授による講義「森林環境教育の重要性と進め方」、箕面森林官による箕面国有林の概要説明、間伐体験に加えて、当ふれあいセンターで作成した森林環境教育推奨事例集の中から、間伐に付随した事例として「木の高さを目測する」、「間伐、ナメコの植菌」を実践してもらいました。

セミナーの終わりには一日を振り返ってもらい、参加した先生からは、山下教授の講義を聞いて「子供たちと共有する森林環境教育の視点についてよくわかった」、間伐を体験して「木を切るだけではなく、木を切る方法や方向、安全など、どんな事に木をつけるのかがわかった。」全体としては、「なかなか出来ない体験をすることが出来てよかった。」「間伐、なめこの植菌はとても興味深かった。」「作業をさせてもらい、体で学習することが出来た。」などの感想が聞かれました。

参加した先生からは、今回楽しく体験したことや推奨事例集の楽しい事例を、学校の授業等を通して先生から子どもたちに伝えていただくことを期待するところです。



山下教授による講義



樹高の測定



箕面森林官による国有林説明



ヒノキ丸太にナメコを種菌



ボランティアの指導のもと間伐・枝払いを体験

オオクワガタの棲める森づくり下刈り体験イベント ～公募した小学生(4～6年生)を対象に森づくり体験～

オオクワガタの棲める森づくりは、大阪府にある箕面国有林で「箕面体験学習の森」としての整備の目玉となる取組で、ドングリ拾いからオオクワガタの棲める台場クヌギになるまでの下刈りや繰り返す伐採など、小学生などに体験してもらえるよう取組が進んでいます。昨年までに植え付けも終わり、今年からは下刈りを体験メニューとして活用していくこととしています。

その第1弾として、8月21日(火)公募した4年生から6年生の小学生を対象にして、森を育てる「下刈り」をメインとした体験イベントを企画しました。日本森林ボランティア協会の皆さんや、箕面市内のボランティアの方々の協力により盛りだくさんの充実したイベントとなりました。この日の市街地では厳しい残暑でしたが、山頂近くのイベント会場では風が心地よく、木陰は更に過ごしやすい環境でした。森を育てることや木材を使い炭素を固定させることなど、子どもたちには難しいことも体験を通じて理解することで記憶に残るものになったと思います。参加した男子の一人は「僕は将来林業の仕事をしたくてこのイベントに参加しました」とたのもし強い強者も参加してくれています。最後の「ふりかえり」でも、「大きな鎌を使って草を刈ることが楽しかった」「木工が楽しくできた」と皆笑顔で帰って行きました。参加した小学生から感想文も届き、森林に抱かれて過ごした楽しさが伝わってきます。



子供たちへのプレゼント(サクラヤンマ)



下刈り体験イベント開会式



ボランティアの指導のもと下刈り体験



鎌谷氏ほかによる植物観察



イベント参加記念植樹(クヌギ苗)



水源の森ジオラマ作成体験



樹高測定体験

**オオクワガタの棲める森づくり下刈り体験イベント
～参加者T君とH君(小学6年生)の感想文～**



T君 下刈り体験中



ぼくは、8月21日(火)に箕面の山に下刈り体験に参加しました。最初、バスに乗った時すごい坂を登ったのでかなり山奥なのかなと思っていました。着くとすごく木だらけでびっくりしました。まず、下刈り体験をしました。すごく大きなかまを持ち色々な植物を刈っていました。思っていたよりもかなり力が入りました。次に、植樹体験をさせていただきました。ヤブ栗かあたので簡単でした。昼、作飯のデザートスイーツを食べると美味しくたまたま。その後、木工体験でぼくは、ジオラマを作りました。夏休みの作品展に出すつもりだったので、クオリティが高い作品にしようと思いがんばりました。賞を取れたら良いです。「下刈り体験」の関係者の皆さん、ありがとうございました。30年後、ぼくが植えた木が元気に育っていたら良いです。平成24年8月21日(火)



H君(右側) ジオラマ作成中



「オオクワガタのすめろ森づくり」
色々な体験をさせていただいてありがとうございました。特に下刈り体験がすごく貴重な体験だったの「ためになりました。一番楽しかったのは木工体験です。木やボード、コルクを使って野や滝をつくられたので、自然の物でつくられたし、よかったです。今年植えた時に、次にどのくらい大きくなるかをよく楽しみにしています。だから次来た時どのくらい成長しているかが計ってみたいです。色々ありがとうございました。



ジオラマ作品例



ジオラマ作成風景

自然再生指導官
～みのおエフエム放送に出演～
オオクワガタの棲める森づくりについて熱く語る

7月26日（木）タッキー816みのおエフエムの「タッキー地球レポート」に田中自然再生指導官が出演し「箕面体験学習の森」「オオクワガタの棲める森づくり」の取組について現在の山の状況について話しました。

また、小学生の体験活動や市民参加により台場クヌギの山となりオオクワガタが棲める環境となることを将来に目指していること、そのための取組の一つとして今年行う小学生を対象とした「下刈り体験イベント」の参加者の応募を呼びかけました。



オオクワガタの棲める森づくり下刈り
～箕面自然休養林協議会メンバーにより実施～

8月29日（水）「オオクワガタの棲める森づくり」の下刈りを「明治の森箕面自然休養林管理運営協議会」の参加団体の協力を得て実施しました。

協議会からは20名の方の参加があり、植えてまだ幼いくヌギやコナラの苗木（樹高はまだ10cmから1mぐらいまでさまざま）を覆うサルトリイバラ、クマイチゴなどトゲのあるものやススキ、アカメガシワを中心に下刈りをしました。昨日までのかんかん照りだった空も、朝から薄雲がたなびき木陰で作業しているような、下刈りには快適な日となりました。刈り出された苗は更に生長し、台場クヌギとなっていくことを想像すると楽しくなってきます。

協議会の皆さんお疲れ様でした。今後とも協働して良い山づくりを進めていきましょう。



協議会参加者も汗だくになって下刈り中



下刈りも進み、苗が顔を出す。



展望台で記念撮影



下刈り後の状況を見る参加者のみなさん

箕面森林環境保全ふれあいセンター職員紹介
メンバーが、新しくなりました。(24年4月)
よろしくお願いします。

箕面森林環境
保全ふれあい
センター
所長
中島 正彦



京都府出身。

大学は、北アルプスなどの雄大な風景に惹かれ信州へ、昭和59年に北海道に勤務し、海外、林野庁、環境省、四国などの勤務を経て32年ぶりに出身地の近くに戻ってきました。大阪北部や京都周囲の山並みは、懐かしい風景です。

前任地、四国では、指導普及課に勤務していました。引き続き、森林環境教育や自然再生などの業務をすることとなりましたが、初心に帰り、新たな気持ちで業務に取り組んでいきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

箕面森林環境
保全ふれあいセ
ンター
自然再生指導官
田中 宏明



岐阜県出身。

近畿中国局以外では平成12年から3年ほど北陸農政局の山村振興を担当。当センターは平成20年度から2年間勤務し、再度この4月から勤務することとなりました。

以前手がけていた箕面体験学習の森の整備に引き続き邁進する考えでいます。また、山の素材を使ったクラフトが好きで、木の枝や種を使ったトンボの標本作製や水源の森をイメージしたジオラマ作りなど森林・林業に関心を持つきっかけ作りとなれば幸いです。鋭意工夫を繰り返しているところです。

箕面森林環境保全ふれあいセンター
自然再生指導官 川村 直樹

平成元年入庁。前任は近畿中国森林管理局総務課。本年4月より当センターの森林環境教育担当となりました。

森林管理署や森林事務所勤務時に、幾度か森林教室の実施経験はあるものの、センターでは取り扱い規模が遙かに大きく、また内容も高度であると感じています。



林野庁 近畿中国森林管理局 箕面森林環境保全ふれあいセンター

箕面森林環境保全ふれあいセンターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。



国民の森林・国有林

TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/index.html

〒530-0042 大阪市北区天満橋一丁目8-75 近畿中国森林管理局3F